

# 1 上位計画・関連計画における自転車利用に関する位置づけ

## 1. 国の指針

### ■安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン(H24年11月)－国土交通省道路局・警察庁交通局

項目	主な内容
●自転車通行空間の計画	<ul style="list-style-type: none"><li>・自転車ネットワーク計画の作成を進めるため、計画目標等の設定、自転車ネットワーク路線の選定、整備形態の選定など計画作成手順を提示</li><li>・車の速度や交通量等に応じ、車道通行を基本とした整備形態の選定の考え方、目安を提示</li><li>・整備に当たり道路空間の再配分や道路拡幅の可能性、速度の見直しによる整備形態の変更を検討するとともに、整備が困難な場合は、整備可能な当面の整備形態、代替路の検討などの対応を提示</li></ul>
●自転車通行空間の設計	<ul style="list-style-type: none"><li>・自転車道、自転車専用通行帯、車道混在における設計の基本的な考え方(分離工作物、幅員、路面表示等)を提示</li><li>・直線的に接続するなどの交差点部における設計の考え方を示し、自動車と分離又は混在させる自転車専用通行帯の対応案を提示等</li></ul>
●利用ルールの徹底	<ul style="list-style-type: none"><li>・以下の3つの観点から利用ルール徹底の取組を提示</li><li>：全ての利用者へのルール周知(学校教育、免許証更新時等)</li><li>：ルール遵守のインセンティブ付与(児童等への自転車運転免許証の交付、事故の危険性周知等)</li><li>：指導取締り(悪質、危険な違反への検挙措置等)</li></ul>
●自転車利用の総合的な取組	<ul style="list-style-type: none"><li>・駐停車・荷捌き車輛対策、放置自転車対策として、自転車専用通行帯区間での駐車禁止規制等の実施と取締り等の取組を提示</li><li>・利用促進として、自転車マップ作成、レンタサイクル導入等の取組を提示</li></ul>

## 2. 柏市の上位計画

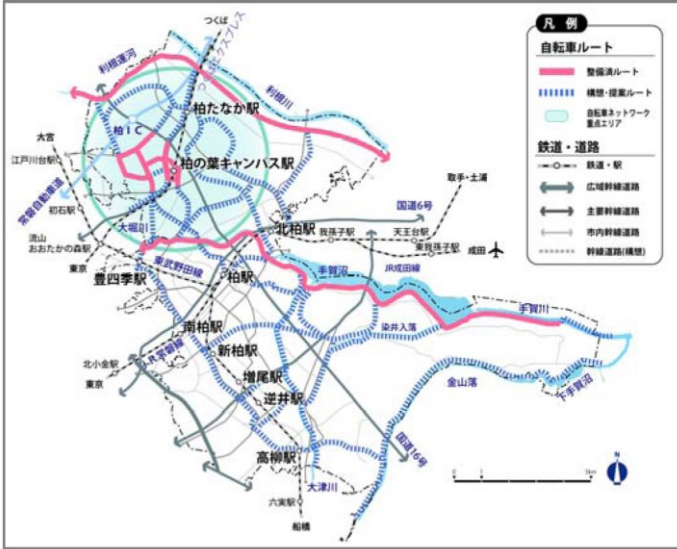
### ■柏市第四次総合計画 後期基本計画(H23年度～H27年度)－H23年3月策定

項目	主な内容
●交通分野の基本施策	○総合交通体系の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通の利便性を高めることで、自動車に多くを依存しない選択性の高い交通体系を構築し、温室効果ガスの排出を抑制した、人と環境にやさしいまちを目指します。</li> </ul>
●自転車に関する取り組み	○自転車利用環境の向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>老朽化した既存駐輪場の計画的な再整備と放置自転車撤去活動の推進により、放置自転車の解消に努めます。また、市営駐輪場の指定管理者制度の拡充や道路占用制度を活用した駐輪場の民営化促進など、民間事業者が駐輪場業務に参入しやすい環境を整備します。</li> <li>自転車と歩行者等との分離や自転車マナーの向上により、交通事故の回避を図ります。また、自転車ネットワークの形成や自転車シェアリングの導入により、自転車の利用しやすい交通環境の整備に努めます。</li> </ul>

### ■柏市第四次総合計画 第六次実施計画(H25年度～H27年度)－H25年3月策定

項目	主な内容
●自転車利用環境の向上	○既設駐輪場の再整備事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>立体駐輪場のうち、老朽化が顕著な施設から順次改修工事を行う。また駐輪場内のセキュリティの強化を図るため、防犯カメラを順次設置する</li> </ul> ○レンタサイクル事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>通勤通学や観光等に、1台の自転車を複数の人が利用するレンタサイクルの利用促進を図り、駐輪台数を抑制することで、自転車の利用しやすい交通環境を整備する。</li> </ul> ○自転車等総合計画策定 <ul style="list-style-type: none"> <li>駐輪場の再配置計画・修繕計画・使用料金改定のほか、放置自転車対策、自転車安全利用対策等を含め、自転車等の各種対策を総合的な見地から計画的に実施していくため、自転車等総合計画を策定する。</li> </ul>

■ 柏市都市計画マスタープラン(H21年度～H37年度)ーH21年6月策定

項目	主な内容										
<p>● 道路・交通分野の基本方針</p>	<p>○ 低炭素型都市づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自動車に過度に依存しない交通システムへの転換を進めていくとともに、公共交通や歩行者・自転車ネットワークを重視した道路整備などにより「歩いて暮らせるまち」を目指します。</li> <li>鉄道・バスなどの公共交通機関の充実を図り、広域及び市内における移動のしやすさの向上を目指します。</li> </ul>										
<p>● 自転車に係る施策</p>	<p>○ 自転車ネットワークの形成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民の手軽なレクリエーションや健康づくりのため、自転車ルートの整備充実を図ります。現在、手賀沼沿いや利根川沿いに整備されていますが、今後、大津川沿いにもネットワーク化していきます。</li> <li>利根川や利根運河等の河川敷沿いのサイクリングロード、布施弁天、旧吉田家住宅、その他の歴史的建造物、公園、緑地など周辺施設を結ぶ自転車ルートの設定や、レンタサイクルの乗り捨てに対応した駐輪施設の整備などを進めます。</li> <li>北部ゾーンにおいては、「柏の葉国際キャンパスタウン構想」により自転車を利用しやすい環境整備と利用の仕組みを確立し、他のゾーンにおいても自転車利用の普及促進を図ります。</li> </ul> <p style="text-align: center;">■ 自転車ネットワーク</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>自転車法に基づく自転車利用総合計画を策定し、自転車利用の促進を図ります。</li> </ul> <p>○ 駐輪場の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>駅周辺における駐車場の整備や駐輪場のリニューアル、民営駐輪場の誘致などの各種放置自転車防止策による駅前放置自転車の解消対策を推進します。</li> <li>駐輪場附置義務制度をより効果的な制度となるよう見直します。</li> </ul> <p>■ 放置自転車対策</p> <table border="1" data-bbox="496 1792 1437 2042"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">駐輪場の整備等</td> <td>市営駐輪場のリニューアル及び高度化・複合化、民営駐輪場の誘致</td> </tr> <tr> <td>上記による市営駐輪場の整理・統合による借地の縮小及び効率的な管理運営</td> </tr> <tr> <td>鉄道事業者や施設設置者及び道路管理者等との適切な役割分担、民間活力等の導入</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">放置防止誘導策</td> <td>放置防止街頭指導員</td> </tr> <tr> <td>自転車の放置防止の啓発、利用マナー・ルールの確立</td> </tr> <tr> <td>放置自転車対策（撤去等）の強化</td> </tr> </tbody> </table>	対象	内容	駐輪場の整備等	市営駐輪場のリニューアル及び高度化・複合化、民営駐輪場の誘致	上記による市営駐輪場の整理・統合による借地の縮小及び効率的な管理運営	鉄道事業者や施設設置者及び道路管理者等との適切な役割分担、民間活力等の導入	放置防止誘導策	放置防止街頭指導員	自転車の放置防止の啓発、利用マナー・ルールの確立	放置自転車対策（撤去等）の強化
対象	内容										
駐輪場の整備等	市営駐輪場のリニューアル及び高度化・複合化、民営駐輪場の誘致										
	上記による市営駐輪場の整理・統合による借地の縮小及び効率的な管理運営										
	鉄道事業者や施設設置者及び道路管理者等との適切な役割分担、民間活力等の導入										
放置防止誘導策	放置防止街頭指導員										
	自転車の放置防止の啓発、利用マナー・ルールの確立										
	放置自転車対策（撤去等）の強化										

■ 柏市総合交通計画（H22年度～H31年度）－H22年3月策定

項目	主な内容
<p>● 自転車に関する基本方針</p>	<p>○自動車に過度に頼らずに生活できる選択性の高い交通環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車に過度に頼らず移動できるよう、鉄道・バス・自転車などの既存交通機関の多様な特性を生かし、連携しながら適切に組合わせて利用する効率的で多様な交通手段が確保された利用しやすい交通環境の整備を図る。</li> </ul> <p>○良好な歩行者・自転車環境が確保された、歩いて暮らせるまちの創出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩行空間のユニバーサルデザイン化など移動円滑化を進め、良好で連続した歩行環境の整備を進めるとともに、既存サイクリングロードとの一体的ネットワーク形成に配慮しながら、自転車も利用しやすい交通環境の実現に取り組む。</li> </ul> <p>○優先順位の評価による効率的な道路整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・首都圏における広域連携拠点としての発展を支え、拠点及び地域間を連絡したり、鉄道駅等交通結節点へのアクセス道路などの緊急性・重要性の高い道路に加え、公共交通や歩行者・自転車ネットワークを重視した道路などの優先的かつ効率的な整備を推進する。</li> </ul>
<p>● 自転車に関する施策</p>	<p>○自転車利用環境の整備(自転車利用環境の向上(重点的取組施策))</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩行者、自転車、自動車の交通量等の実態、道路の構造を踏まえて、走行環境の分離を推進していく。</li> <li>・自転車等の駐車対策に関する総合計画を策定し、関係機関がそれぞれの役割を分担し、相互に連携・協力しながら、必要な措置を講じていく。</li> </ul> <p>○ルール周知徹底、マナーの向上(自転車利用環境の向上(重点的取組施策))</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車利用者の通行ルールの周知徹底、マナー向上を関係機関と連携した啓発活動等を通じ実施していく。</li> </ul> <p>○自動車交通量の削減(環境負荷の低減)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通機関利用への啓発や誘導、パーク＆ライド、エコドライブ、カーシェアリング等の様々な取り組みを実践し、自動車交通量の総量削減に努めていく。</li> </ul> <p>○地域ICT活用モデル事業(次世代型環境都市モデルの展開(重点的取組み施策))</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・柏の葉地域を中心として、ICT(情報通信技術)の利活用により、簡単に複数交通手段から自分の状況とニーズに合った交通手段を選択できるよう支援したり、サイクルシェア導入を視野において、必要な手続きを簡単に出来るよう支援するシステムの構築を目指していく。</li> </ul>

### 3. その他関連計画

#### ■第9次柏市交通安全計画(H23年度～H27年度)

項目	主な内容
<p>●自転車に係る施策</p>	<p>○自転車の交通事故防止対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手軽で便利な交通手段、環境配慮や健康志向等の点から自転車利用者の増加に伴い、自転車の関係する交通事故が多発しています。交通事故防止対策として自転車安全利用五則等、交通ルールとマナーの啓発、警察署による指導及び取締りの強化、交通安全協会や安全運転管理者協議会、サイクリング協会等関係機関と協力し啓発活動を実施していきます。また、多くの自転車利用者が使用する市営駐輪場において、利用者への自転車の安全利用のチラシの配布や啓発看板の設置等行っていきます。</li> <li>・自転車が歩道通行するようになり、自転車と歩行者、自転車と自転車の事故も増え、加害者になることもあるため、賠償責任保険が付加された、TSマーク付帯保険や民間の自転車保険の加入促進を図っていきます。</li> <li>・今後、市内全域を対象とした自転車の駐輪・走行環境・安全誘導など、自転車利用の環境整備に関する計画の策定を予定しており、市内の自転車交通環境のあり方について検討を進めていきます。</li> <li>・また、安全基準を満たした「幼児2人同乗自転車」の普及促進、13歳未満の子どものヘルメット着用を推進していきます。</li> </ul> <p>○駐輪場の整備及び放置自転車対策の推進</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 駐輪場の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化した既存駐輪場の計画的な再整備や利便性の向上及び防犯対策の強化に努めるとともに、レンタサイクルを含む自転車シェアリング事業の推進による駐輪需要の総量抑制や既存駐輪場の配置・規模の見直し、民間活力を活かした駐輪場整備や民間駐輪場誘致のための支援制度の創設などに取り組みます。</li> </ul> </li> <li>2) 放置自転車対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内各駅周辺の放置自転車台数及び放置自転車撤去台数は、共に年々減少しているが、依然として放置が絶えないことから、従前の平日午前撤去に加え、商店会等の協力を得て、放置の多い平日午後の撤去に努めます。</li> </ul> </li> <li>3) 駐車秩序の確立 <ul style="list-style-type: none"> <li>・健常者はもとよりお年寄りや車椅子利用者など全ての歩行者が安全に安心して歩道を通行できるよう、自転車利用者に対し法令の遵守、正しい駐車方法等に関する教育及び広報活動を行い、社会的、道義的責任の自覚を求め、道路の通行機能及び歩行者の安全確保に努めます。</li> </ul> </li> <li>4) 駅前放置自転車クリーンキャンペーンの活動の拡充 <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国的に駅周辺の放置自転車による交通障害や街の景観悪化が大きな社会問題となっている実情を踏まえ、放置から駐輪場利用への転換を図るため、商店街、鉄道事業者等の関係機関及び市民と連携してクリーンキャンペーン活動を拡充します。</li> </ul> </li> </ol>

■ 柏市環境基本計画(H21年度～H27年度)－H21年3月策定

項目	主な内容
● 自転車に係る施策	○ 自転車を利用しやすい環境の整備(自動車交通対策(自動車交通の円滑化や抑制)の推進) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 放置自転車の撤去</li> <li>・ 公共空地を利用した駐輪場整備</li> <li>・ 民営駐輪場への支援</li> <li>・ 自転車専用道路の整備</li> </ul>

■ 第2期柏市地球温暖化対策計画－H26年3月策定

項目	主な内容
● 自転車に係る施策	○ 環境に優しく、健康的な移動手段 ー 自転車利用の促進と利用環境整備 【環境政策課、交通政策課、交通施設課】 ー <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 車の排気ガスが温暖化を促進していることは、今日では広く知られています。また、健康志向と相俟って東日本大震災以降、確実な移動手段として自転車利用者が増加しています。温暖化対策としては、通勤、買い物など日常の移動手段が車主体から自転車へ転換されることが望ましい姿ですので、環境政策として、自転車の利用を促進していきます。</li> </ul> しかし、残念ながら自転車同士や歩行者を巻き込む事故が増加しているのが現状です。また、依然として放置自転車が後を絶ちません。こうしたことから、自転車総合計画(平成27年3月予定)を策定し、歩行者・自転車との通行空間の分離による安全で快適な走行環境の整備、放置自転車対策、駐輪場の適正配置や利用方法の改善、自転車のルールの徹底やマナーの向上などハード・ソフト施策を展開していきます。 ○ 柏市が描く明るい低炭素社会 ー 自転車・バス交通の充実による歩いて暮らせる街の創出 ー <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自動車に過度に頼らずに生活できる選択性の高い交通環境を整備する。具体的には、歩行者及び自転車利用者に対する利用環境の整備・ネットワーク化により、環境に配慮した交通への転換を誘導する。</li> </ul>

■ 柏市バリアフリー基本構想(H22年度～H37年度)－H22年3月策定

項目	主な内容
● 自転車に係る施策	○ 道路のバリアフリー方針 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歩道の段差、勾配、路面の凸凹等を改善し、歩道の平坦性を確保します。</li> <li>・ バリアフリー経路の歩道の幅員は2m以上(やむを得ない場合は1.5m以上)を確保します。</li> <li>・ 歩道がない区間は歩行空間を確保し、安全性を高めます。</li> <li>・ 可能な限り、歩行者と自転車の分離を工夫します。</li> <li>・ 視覚障害者誘導用ブロックの設置や改善を行います。</li> <li>・ 歩行者の動線上にある排水ます等のふたは、溝が細かいグレーチングに変えるなど、改善を行います。</li> <li>・ 夜間においても、高齢者・障害者等が安全で安心して歩けるように、照明施設の整備により、歩行空間の適切な明るさを確保します。</li> <li>・ 路上の障害物を整理し、十分な通行空間を確保します。</li> <li>・ バリアフリー化の観点からも、電線類地中化の推進に努めます。</li> <li>・ バス停を設ける歩道は、高齢者・障害者等がノンステップバスに円滑に乗降できる構造にします。</li> <li>・ バリアフリー経路の整備にあたっては、わかりやすい案内標識の整備や休憩できるベンチの設置にも配慮しながら進めます。</li> </ul>

■ノーマライゼーションかしわプラン(H24年度～H32年度)－H19年4月策定

項目	主な内容
●自転車に係る施策	<p>○障害のある人に配慮した都市基盤の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国のバリアフリー新法、千葉県福祉のまちづくり条例、柏市福祉のまちづくりのための施設整備要綱、柏市バリアフリー基本構想などに基づき、障害のある人・高齢者の利用に配慮した都市基盤整備に努めます。</li> <li>：「福祉のまちづくり」の推進</li> <li>：安心して利用できる公園の整備</li> <li>：交通安全対策の推進</li> <li>：柏市バリアフリー基本構想</li> <li>：市営駐輪場の「思いやりスペース」</li> <li>：安心して通行できる道路・歩行空間の整備</li> <li>：学校施設のバリアフリー整備</li> </ul> <p>○歩行者の妨げとなる違法物への対策の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩行の障害となる、無許可で設置された立て看板の撤去を実施します。また、警察や商店会の協力を得ながら、路上に設置・陳列されている商店の看板や商品の撤去指導を実施していきます。さらに、「放置自転車対策事業」として、自転車等放置禁止区域における自転車放置防止対策を講じるとともに、放置自転車の撤去作業を行います。</li> <li>：歩行者の妨げとなる違法物対策</li> <li>：放置自転車対策事業</li> </ul>

■柏の葉国際キャンパスタウン構想－H20年3月策定

－千葉県、柏市、千葉大学、東京大学－

項目	主な内容
●自転車に係る施策	<p>○世界の環境交通モデルとなる移動のシステムを整える</p> <p>○「柏の葉自転車利用促進計画」(H22年3月)の策定</p> <p>○「自転車グランドビジョン(案)」の作成、モビリティフォーラムの開催</p> <p>○自転車通行環境整備に関するモデル地区の指定(H20年、柏の葉キャンパス駅周辺地区)、ITS実証実験モデル都市への指定(H21年)</p> <p>○歩行者と自転車の楽しい移動を可能とするネットワークをつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・すべての幹線道路への自転車レーンの設置等のネットワーク整備、フリーサイクルや共同自転車等のシステム導入、地域資源を活かす魅力ある歩行者空間とネットワーク形成など(自転車分担率10%増加)</li> <li>・すべての幹線道路への自転車レーン設置などのネットワーク整備</li> <li>・フリーサイクルや共同自転車などのシステム導入</li> <li>・地域資源を活かす魅力ある歩行空間とネットワーク形成</li> </ul> <p>○自動車利用を削減するための総合的な施策展開 (自動車分担率の10%低下)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カーシェアリングの実施</li> <li>・環境にやさしいエネルギーの利用 など</li> </ul>

■ 柏市観光基本計画－H26 年3月策定

項目	主な内容
● 自転車に係る施策	<p>○観光プロモーション活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内の各観光拠点（あけぼの山公園、手賀沼等）を結ぶ公共交通やサイクルロード等について検討します。</li> </ul> <p>○重点地域別施策より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一柏駅周辺エリア～駅前回遊の促進一</li> <li>・駐輪場を整備することで、駅前や商店街での放置自転車をなくし、歩行者が安心安全に楽しめるまちづくりを目指します。</li> <li>一手賀沼周辺エリア～手賀沼とその周辺の整備と啓発一</li> <li>・自転車利用者の利便性を向上するため、サイクルポートなどの設備を整備します。</li> </ul>

■ 柏市緑の基本計画－H21 年6月策定

項目	主な内容
● 自転車に係る施策	<p>○サイクリングネットワークの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>利根川・利根川運河の堤防や大堀川リバーサイドパーク、手賀沼ふれあい緑道等の既存のサイクリング道路などを活用して、拠点の緑や文化財、鉄道駅・大学・スポーツ施設等を結ぶサイクリングネットワークづくりを検討します。</li> </ul>

■ 第2期柏市中心市街地活性化基本計画－H26 年4月策定

項目	主な内容
● 自転車に係る施策	<p>○事業名7－柏駅東口第二駐輪場耐震補強整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>柏駅東口第二駐輪場は建設から30年以上が経過しており、著しい老朽化への早急な対応が必要であるため、改修工事を実施する</li> </ul> <p>○事業名8－柏駅西口第一駐輪場整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>柏駅西口第一駐輪場は、建設から20年以上が経過しており、著しい老朽化への早急な対応が必要であるため改修工事を実施する。また、放置自転車等を減少させることにより、駅周辺の交通安全の確保や良好な都市景観が創出され、まちなか回遊性の向上に寄与し、中心市街地の活性化に必要</li> </ul> <p>○事業名9－柏駅東口第三駐輪場整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>柏駅東口第三駐輪場は建設から20年以上が経過しており、著しい老朽化への早急な対応が必要であるため、改修工事を実施する</li> </ul> <p>○事業名29－自転車総合計画策定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自転車の駐輪・放置自転車対策、走行環境、交通安全指導及び啓発などに関する自転車全般に係る総合計画を策定する（25～26年度）</li> </ul> <p>○事業名30－コミュニティサイクル民営化実証実験事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニティサイクルのシステム改良を行い、自転車のシェアによる都市環境の向上を図る事業について、民営化が可能であるか実証実験を行う（25～26年度）</li> </ul> <p>○事業名31－モビリティ・マネジメント事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家用車の利用から公共交通への転換を促す、コミュニティ施策を展開する（27～28年度）</li> </ul> <p>○事業名33－放置自転車等街頭防止事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>柏駅周辺において、街頭巡回指導員が自転車等放置禁止区域を巡回し、指導及び啓発を行う</li> </ul>



■ 柏の葉自転車利用促進計画－H22年3月策定（UDCKの他民間企業3社）

項目	主な内容
● 自転車の街の目標	<p>○目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活圏での移動を日常的に行う場合の手段として、3Km以下の移動を中心として、自動車から自転車に転換するとともに、この割合をキャンパスタウン構想に基づいて、10%を自家用車から自転車に移動することとして、自転車分担率を27%の目標として設定するものとする。</li> </ul> <p>○目標達成のための方策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>住民等に対するインセンティブとなる施策及び柏の葉キャンパスタウンに適した施策の検討</li> <li>自転車の他の交通手段との関係を考慮した自転車施策の検討</li> </ul>
● 基本計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>自転車の用途別の利用方策</li> <li>自転車の走行・駐車空間、車体の方策</li> <li>自転車利用促進方策の拡大戦略</li> <li>自転車関連施策及び実施主体の整理、自転車利用促進効果の高い項目とそれを支える施策</li> </ul>

■ 柏の葉交通戦略－H25年9月策定（柏の葉国際キャンパスタウン構想委員会）

項目	主な内容
● 自転車に関する基本方針	<p>○長期ビジョン（～2022年度目標年次）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>マルチモーダルビジョン－政策優先順位（案） （サイクルシェア、個人利用自転車、レンタサイクル）</li> <li>シェアリングシステムズの位置づけ （サイクルシェア、レンタサイクル）</li> </ul>
● 自転車に関する施策	<p>○短期戦略（H25年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自転車ネットワークの整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>－鉄道端末交通手段としての自転車利用だけでなく、柏の葉エリア内の代表交通手段としての自転車利用も促進させるため、連続した自転車通行空間を整備する（特に柏の葉キャンパス駅、柏の葉公園周辺地区との間の区間の先行的な自転車通行空間の整備）</li> </ul> </li> <li>駐輪場の効果的な配置・運用 <ul style="list-style-type: none"> <li>－駅周辺での個人利用自転車の過剰な利用の抑制、地区内循環バスやシェアリングシステムズへの誘導</li> <li>－特定の駐輪場への需要の一極集中を避けるため駅周辺の駐輪場料金体系の方向性の統一</li> <li>－公設・民設の駐輪場の連携と駅周辺駐輪台数の確保</li> </ul> </li> </ul>

## 2 自転車利用環境の現状

### 1. 柏市の概況

#### (1) 柏市の位置・地勢等

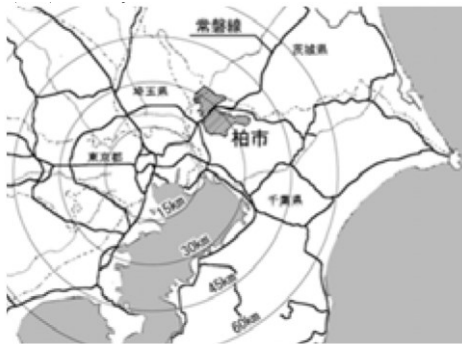
柏市は、下総台地北西部の台地上に位置し、地勢は概ね平坦地でほぼなだらかな地形であり、温暖な気候であるなど、自転車利用に適した環境を持っています。

柏市は、都心から30km 圏の千葉県北西部に位置し、東西約18km、南北約15km、面積は114.9 km<sup>2</sup>です。東に我孫子市・印西市、利根川を挟んで茨城県取手市及び守谷市、南に鎌ヶ谷市・白井市、西に松戸市・流山市、北に野田市が隣接しています。

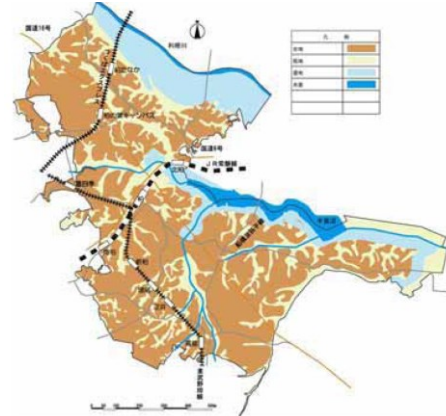
地勢は概ね平坦であり、下総台地の北西部に位置し、その大部分は台地上にあり、標高差は最大32mでほぼなだらかな地形となっています。市の北東部には利根川が流れ、台地に入り込んだ大堀川、大津川、金山落などの川沿いや、手賀沼や利根川沿いに分布している低地は、干拓事業や治水事業などが進められ、まとまった農地等となっています。

平成24年、平均気温15.3℃、年間降水量は1,499mmで、晴れの日が多いなど温暖な気候となっています。

■広域的位置



■地形概要図



#### (2) 年齢階層別人口の推移

本市の人口は、平成22年現在404,012人で年々増加傾向にあり、生産年齢人口の比率が6割強、老年人口が19.9%とゆるやかに高齢化が進行しています。

平成22年現在、国勢調査による柏市の人口は、404,012人となっています。

年齢別構成でみると、年少人口13.6%、生産年齢人口66.5%、老年人口19.9%となっています。

平成17年と比較すると、総人口の増加とともに各実数は増加していますが、生産年齢人口割合が減少、老年人口の割合が増加し、高齢化の進行がみられます。

■年齢別人口（国勢調査）

	平成17年		平成22年	
	柏市(人)	総数に対する割合(%)	柏市(人)	総数に対する割合(%)
総数	380,963	100.0	404,012	100.0
男性	190,138	49.9	210,045	49.8
女性	190,825	50.1	202,967	50.2
年少人口 (15歳未満)	51,186	13.4	54,571	13.6
生産年齢人口 (15歳～64歳)	266,831	70.0	267,374	66.5
老年人口 (65歳以上)	62,383	16.4	80,129	19.9
年少人口指数	19.2	—	20.4	—
老年人口指数	23.4	—	30.0	—
老年化指数	121.9	—	146.8	—
高齢化率	16.4	—	19.8	—

### (3) 柏市の特性

柏市は、首都圏における広域連携拠点として位置づけられており、圏域の交通の要衝地、中心市街地における高度な商業機能の集積、つくばエクスプレス開通に伴う北部地域整備などの都市化が進展する一方、スポーツが盛んで、豊かな自然や田園空間などの地域資源が特色となっています。

#### ● 東京都心から30km圏に位置する首都圏における広域連携拠点としての中心的な地域

柏市は、首都圏東部、東京都心から30km圏に含まれ、千葉県北西部の東葛飾地域に位置し、首都圏東部における広域連携拠点として中心的な地域となっています。

#### ● 首都圏の交通の要衝

東京都心から放射状にJR東日本・常磐線、東京メトロ・千代田線及びつくばエクスプレスが、南北には東武野田線が通っています。

道路は、東京、茨城方面へ常磐自動車道と国道6号が、埼玉、千葉方面へ国道16号が通り、首都圏の放射状と環状の交通幹線の交差点に位置する交通の要衝となっています。

#### ● 首都圏のベッドタウンとしての都市化の進展

昭和29年の市制施行以来、著しい人口の流入による都市化が進み、昭和30年代、国内初の大型住宅団地を初めとする住宅団地建設や工業団地への企業進出が図られました。

#### ● 住宅都市から広域的な商業拠点都市への発展

常磐線の複々線化（昭和46年4月）、柏駅東口市街地再開発事業の完成（昭和48年10月）を契機として、住宅都市から広域的な商業拠点都市への発展を遂げました。特に、柏駅に隣接して出店した「柏そごう（昭和48年10月：柏駅東口市街地再開発事業）」及び「柏高島屋（昭和48年11月）」という2つの百貨店は、千葉県北西部及び茨城県南部における商業力を決定づけ、以後、現在に至るまでその役割を担い続けています。

#### ● 自然環境の豊かさ

手賀沼やあけぼの山農業公園をはじめ、広大な緑地や農地など、都心部に位置しながら水と緑に恵まれた豊かな自然環境を有しています。

#### ● 都市の成熟化、スポーツの盛んなまちへ

経済社会の成熟化に伴い単なる「生活の便利さ」のみならず「緑と水」、「うるおいとやすらぎ」といった快適な居住環境へのニーズが高まっています。

また、Jリーグのチームである「柏レイソル」のホームタウンとしても知られており、スポーツを通して地域の活性化と市民の交流を図る「スポーツによるまちづくり」を推進しています。

#### ● 市町村合併～中核市に移行

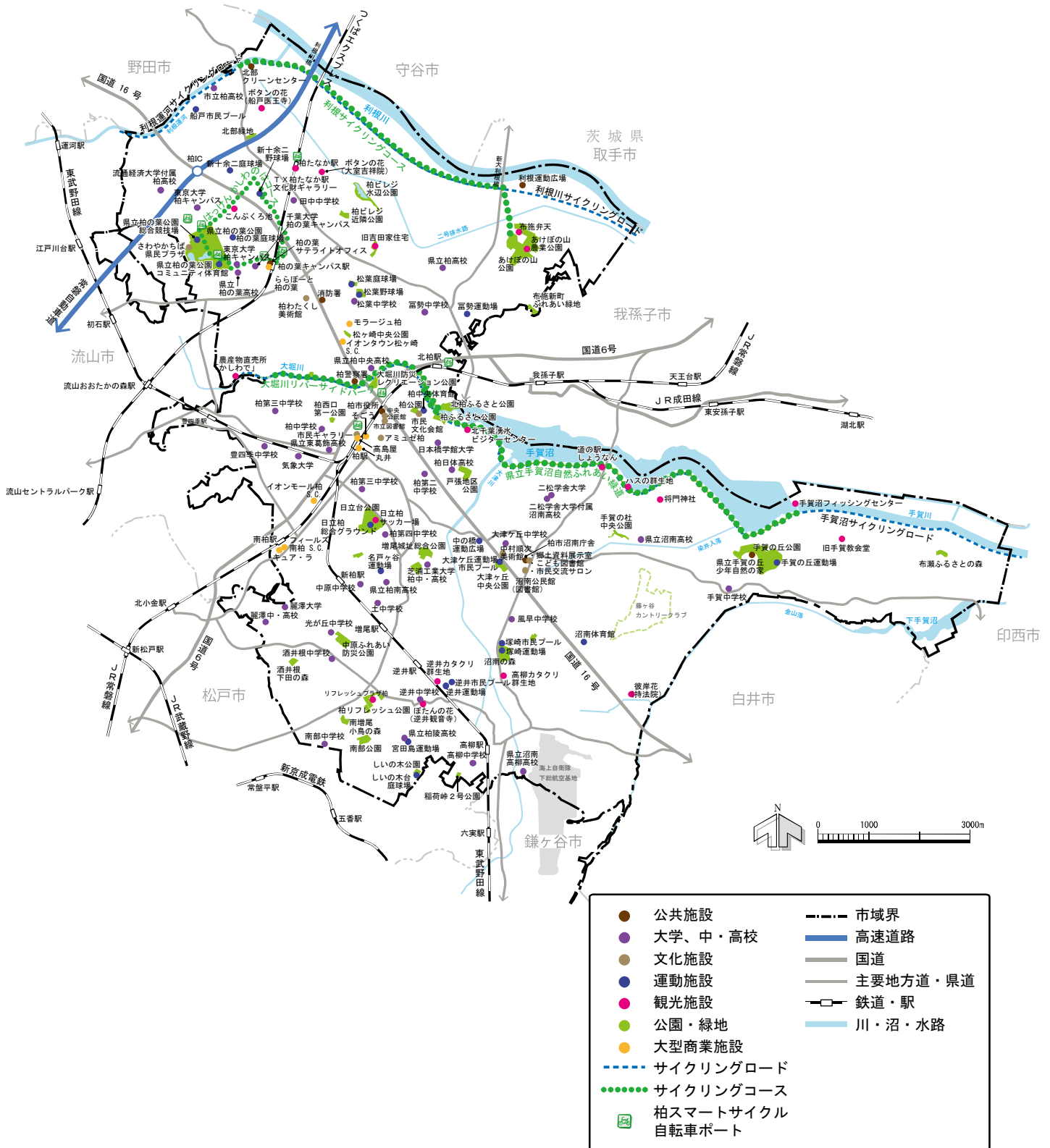
平成17年3月に旧沼南町との合併により新「柏市」が誕生、同年8月に北部地域の「つくばエクスプレス」の開通により、柏駅を中心とした都市構造から柏の葉キャンパス駅周辺地区との2極化が進行するなど、本市の都市構造が変化してきました。

このような都市規模の拡大とともに、分権型社会に対応していくため、平成20年、中核市への移行とともに、東葛広域行政連絡協議会において政令指定都市に向けた研究を進め検証を行っています。

## 2. 主要施設の分布状況

柏市の公共的施設は次のようなものが挙げられますが、主な施設は、JR常磐線柏駅、北柏駅、TX柏の葉キャンパス駅、及び、沼南庁舎周辺に集中し立地しています。また、北部・南部地域は、良好な住宅地整備と文化・レクリエーション施設等の都市的土地利用が進展しています。

■ 公共的施設の分布状況



■ 公共的施設一覧(1)

(平成 22 年 3 月現在)

	施設	箇所数	名称
官 公 庁 施 設	市役所	1	柏市役所
	支所	1	沼南庁舎
	保健所	1	柏市保健所
	健康管理センター	1	健康管理センター
	保健センター	2	柏市中央保健センター 柏市沼南保健センター
	警察署	1	柏警察署
	税務署	1	柏税務署
	県税事務所	1	柏県税事務所
	ハローワーク	1	ハローワークプラザ柏
	年金相談センター	1	柏年金相談センター
消費生活センター	1	消費生活センター	
福 祉 施 設	地域生活支援センター	1	柏市地域生活支援センターあいネット
	社会福祉協議会	1	柏市社会福祉協議会(介護予防センターいきいきプラザ内)
	ボランティアセンター	1	柏市社会福祉協議会ボランティアセンター(教育福祉会館内)
	地域福祉センター	1	地域福祉センター(教育福祉会館内)
	社会福祉センター	1	沼南社会福祉センター
	老人福祉センター	4	中央老人福祉センター(教育福祉会館内) 老人福祉センター柏寿荘 南部老人福祉センター 沼南老人福祉センター「いこい荘」
	シルバー人材センター	1	柏市シルバー人材センター
	介護予防センター	2	介護予防センター「いきいきプラザ」 介護予防センター「ほのぼのプラザますお」
	地域包括支援センター	7	北柏地域包括支援センター 柏西口地域包括支援センター 柏東口地域包括支援センター 沼南地域包括支援センター(沼南社会福祉センター内) 柏北部地域包括支援センター 光ヶ丘地域包括支援センター 柏南部地域包括支援センター
	身体障害者福祉センター	1	身体障害者福祉センター(教育福祉会館内)
医 療 施 設	病院(一般病床100床以上)	9	おおたかの森病院
			柏厚生総合病院
			柏光陽病院
			市立柏病院
			国立がんセンター東病院
			千葉・柏たなか病院
			東京慈恵会医科大学附属柏病院
			名戸ヶ谷病院 辻仲病院柏の葉

■公共的施設一覧(2)

(平成 22 年 3 月現在)

	施設	箇所数	名称
文化施設	アミューゼ柏	1	アミューゼ柏
	市民文化会館	1	市民文化会館
	県民プラザ	1	さわやかちば県民プラザ
	図書館本館	1	図書館本館
	公民館	2	中央公民館 沼南公民館
	勤労会館	1	勤労会館
運動施設	総合競技場	1	県立柏の葉公園総合競技場
	体育館	2	中央体育館 沼南体育館
	日立柏サッカー場	1	日立柏サッカー場
商業施設※	大規模小売店舗(10,000㎡～)	13	柏駅前第一ビル(丸井)
			イトーヨーカ堂柏店
			長崎屋サンショッピングセンター柏店
			スカイプラザ柏
			(株)高島屋柏店
			東武柏駅ビル・(株)高島屋柏店・(仮称)柏駅西口共同ビル
			柏ショッピングセンター
			柏駅前共同ビル(丸井)
			コジマNEW柏・松ヶ崎ショッピングセンター
			エディオン柏沼南店
			モラージュ柏
イオン柏ショッピングセンター			
ららぽーと柏の葉			
その他	郵便直営店	1	柏郵便局
	斎場	1	ウイングホール柏斎場
避難場所	広域避難場所	4	廣池学園
			(株)日立製作所柏総合グランド
			県立柏の葉公園
			中原ふれあい防災公園
公園・緑地	地区公園	3	戸張地区公園 柏リフレッシュ公園 中原ふれあい防災公園
	総合公園	2	増尾城址総合公園 手賀の丘公園
	特殊公園	1	あけぼの山公園
	広域公園	1	県立柏の葉公園
	都市緑地(10,000㎡以上)	8	新十余二第一緑地
			松葉町緑地
			あかね緑地
			柏の葉第2水辺公園
柏ビレジ水辺公園			
布施新町ふれあい緑地			
あけぼの山農業公園	1	西十余二第一公園	
		酒井根下田の森緑地	
あけぼの山農業公園	1	あけぼの山農業公園	
駐車場	市営駐車場	1	市営駐車場

注) 平成 22 年 3 月廃止施設は含まず、4 月開設施設を含む。

※千葉県大規模小売店舗名簿(平成 20 年 12 月末日現在)から対象施設とその名称を掲載。

資料: 柏市バリアフリー基本構想(H22年3月)



### 3. 交通基盤等の概況

#### (1) 道路網

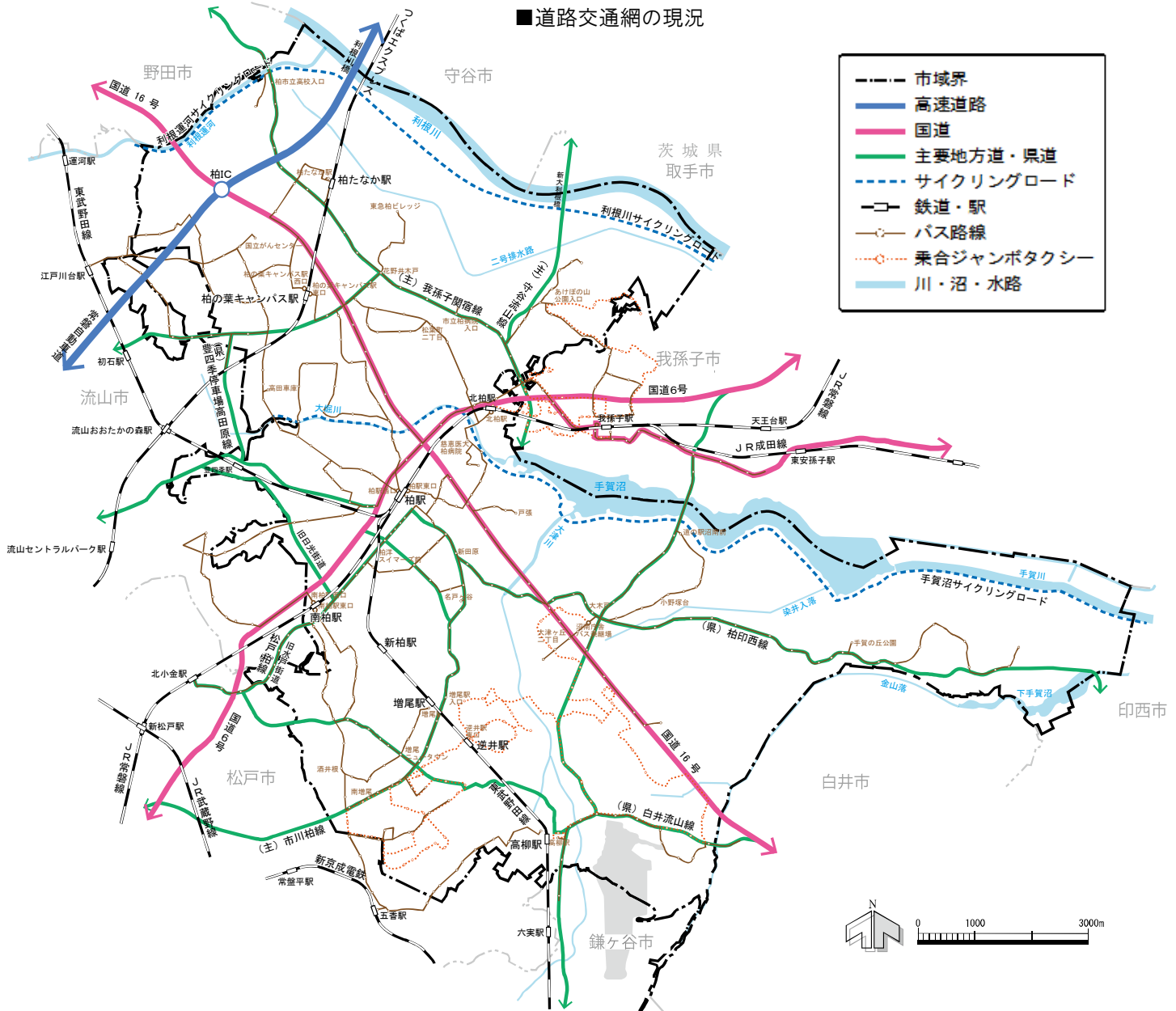
柏市は、常磐自動車道や国道 16 号、国道 6 号など広域的な交通アクセスに優れており、骨格となる幹線道路が格子状に地域を結ぶ交通利便性の高い都市です。本市の都市計画道路は 63 路線計画決定されており、整備済・概成済は総延長区間の約 46%と、整備率は県内主要都市と比較して低い状況にあります。

#### ① 主要な道路網

高規格道路としては、常磐自動車道が本市北部を横断しており、市内に柏 IC が位置しています。

広域幹線道路としては、市を南北に縦貫する国道 16 号、本市中心を東西に横断する国道 6 号（水戸街道）が位置し、慢性的な交通渋滞となっている国道 16 号は、渋滞緩和を図るためのバイパス整備の検討が進められています。

また、本市の骨格を形成している主要な幹線道路としては、我孫子関宿線、守谷流山線、市川柏線、船橋我孫子線などが挙げられ、2つの広域幹線道路を骨格とし、柏駅周辺地区を中心とした放射・環状系道路配置と概ね格子状の道路網となっています。



## ② 都市計画道路の整備状況

本市の都市計画道路は、現在 63 路線が計画決定されており、総延長は 150.3km です。このうち、改良済区間延長が約 55.1km（総延長の約 36%）、概成済区間延長が約 13.5km（総延長の約 9%）、整備済・概成済あわせて約 68.6km（総延長区間の約 46%）であり、柏市の都市計画道路整備率は、県内主要都市と比較しても低い状況にあります。

■ 都市計画道路の整備状況



資料：柏市道路整備プログラム作成業務報告書（H24年3月）



## (2) 公共交通

東京都心へ直結する JR 常磐線と首都圏の環状鉄道網である東武野田線が本市中心部に乗り入れているほか、北部地域につくばエクスプレスが開通、また、バスは柏駅を中心に市内を放射状にネットワークし運行されていますが、鉄道・バスともに利用者は近年減少傾向にあります。

### ① 鉄道

柏市は、JR東日本と東武鉄道の2つの鉄道があり、市内にはJR常磐線の柏駅、南柏駅、北柏駅の3駅、東武野田線の豊四季駅、南柏駅、新柏駅、増尾駅、逆井駅、高柳駅の6駅が位置しています。また、平成17年8月につくばエクスプレス（以下、TXとする）が開業し、市内に「柏の葉キャンパス駅」及び「柏たなか駅」の2駅が設置されています。

平成24年度のJR線各駅の日平均乗客数は、約170千人、東武鉄道各駅の日平均乗客数は、約106千人、計約276千人となっています。また柏駅は、JR常磐線と東武野田線駅が同じ駅舎にあり、両社柏駅の乗客数は、一日平均約188千人で、柏市全体の乗降客数の約68%を占めています。TX線2駅の日平均乗車人員は、平成24年度で約16千人となっています。

鉄道利用状況をみると、JR常磐線各駅の乗降客数は若干減少傾向にあり、東武野田線の各駅も減少傾向にあります。一方、TX線各駅の乗降客数は、着実に増加傾向にあり、市内西北部のJR線利用者の多くがTX各駅利用に転じているものと想定されます。

#### ■鉄道網の状況



■各鉄道駅の日平均乗車人員（人／日）－H24年度

#### ■JR東日本線（JR東日本東京支社）

柏駅	南柏駅	北柏駅
119,064	31,616	19,243

#### ■東武鉄道線（東武鉄道株式会社営業部審査課）

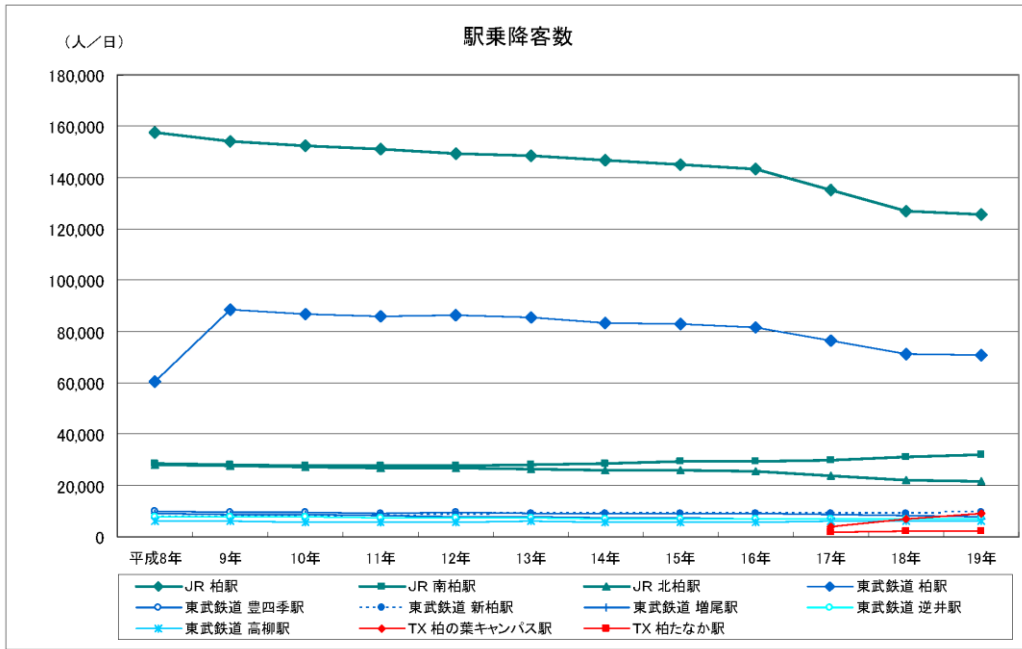
柏駅	豊四季駅	新柏駅
69,343	7,073	9,688
増尾駅	逆井駅	高柳駅
6,599	6,981	6,191

#### ■つくばエクスプレス線（首都圏新都市鉄道株式会社）

柏の葉キャンパス駅	柏たなか駅
11,677	2,786

資料：第2期柏市中心市街地活性化基本計画（H26年4月）

■乗降客数の推移



資料：柏市統計

② バス交通

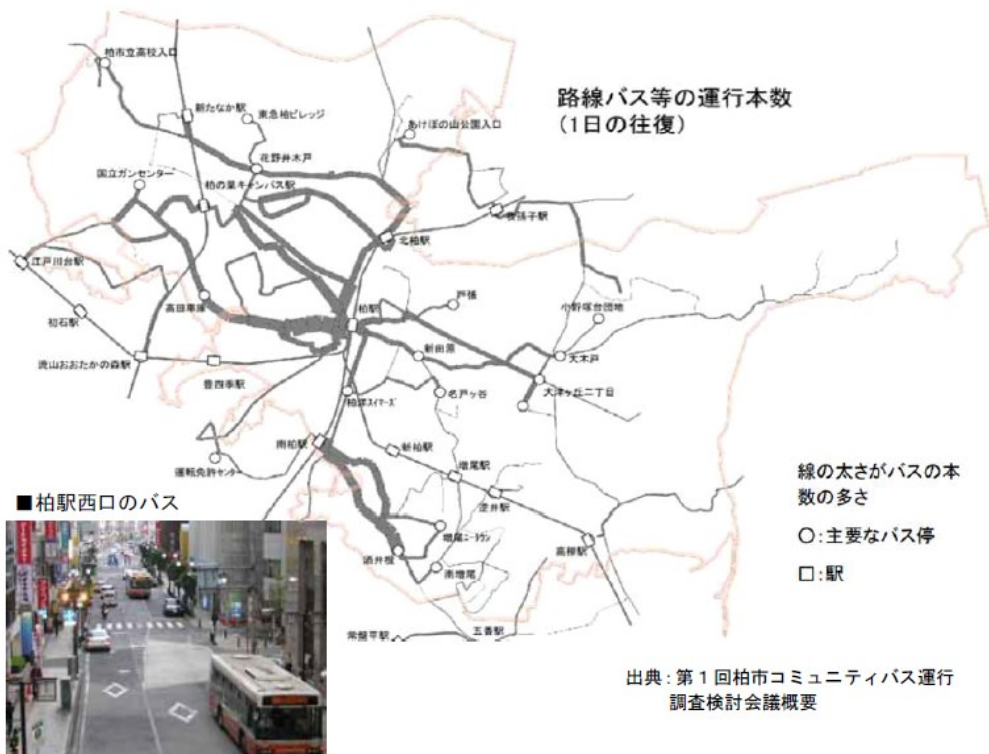
柏市の路線バスの運行状況を見ると、柏駅を中心にした、放射状のネットワークとなっており、JR 3駅を中心に路線網が整えられ、JR 線以西の地域で運行本数が多くなっています。

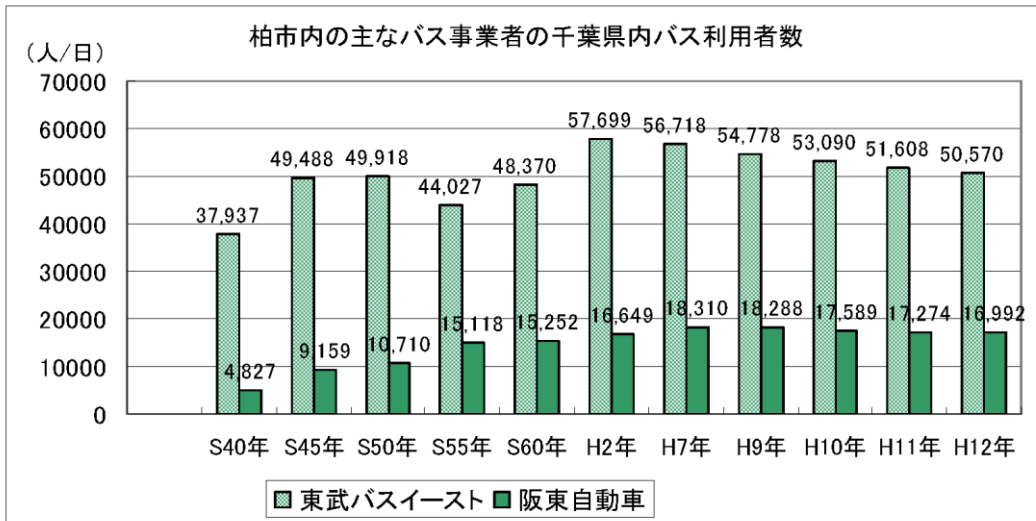
路線バスは4社で運行され、路線数が最も多いのは柏駅西口で、次に柏駅東口、南柏駅東口となっており、柏駅西口と柏の葉方面を結ぶ路線は、市内の路線では最も便数が多くなっています。

バス利用者の推移をみると、平成2年をピークに減少傾向にあります。

また、交通不便地域を解消し、公共公益施設への連絡機能を高めるため、沼南地域を中心として、かしわコミュニティバス、かしわ乗合ジャンボタクシーが運行されていますが、利用者は若干減少傾向にあります。

■柏市内のバスの運行状況

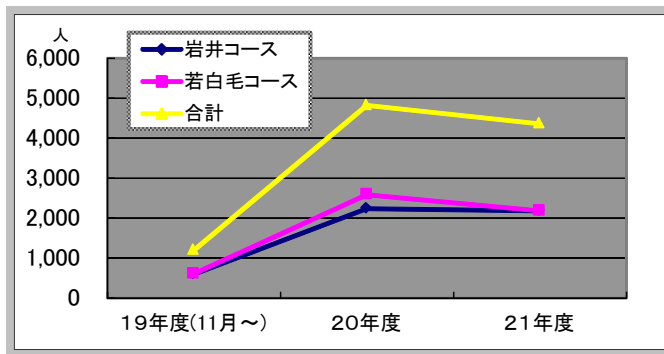




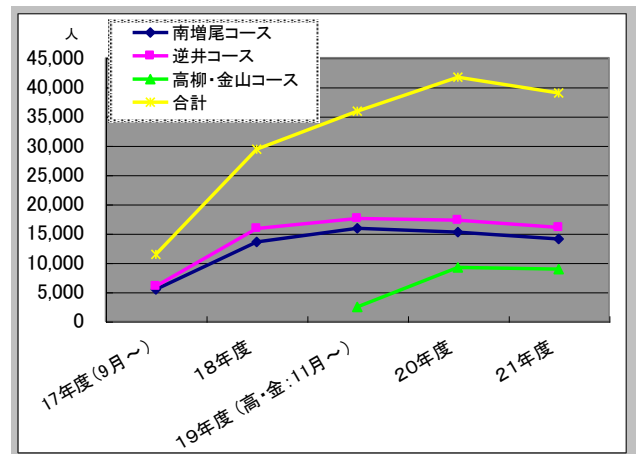
資料：千葉県交通計画課

### ■コミュニティバスの利用者実績

○かしわコミュニティバス (H19~21年度)



○かしわ乗合ジャンボタクシー (H17~21年度)



資料：市内の公共交通 (H22年8月)



## 4. 自転車利用の現況

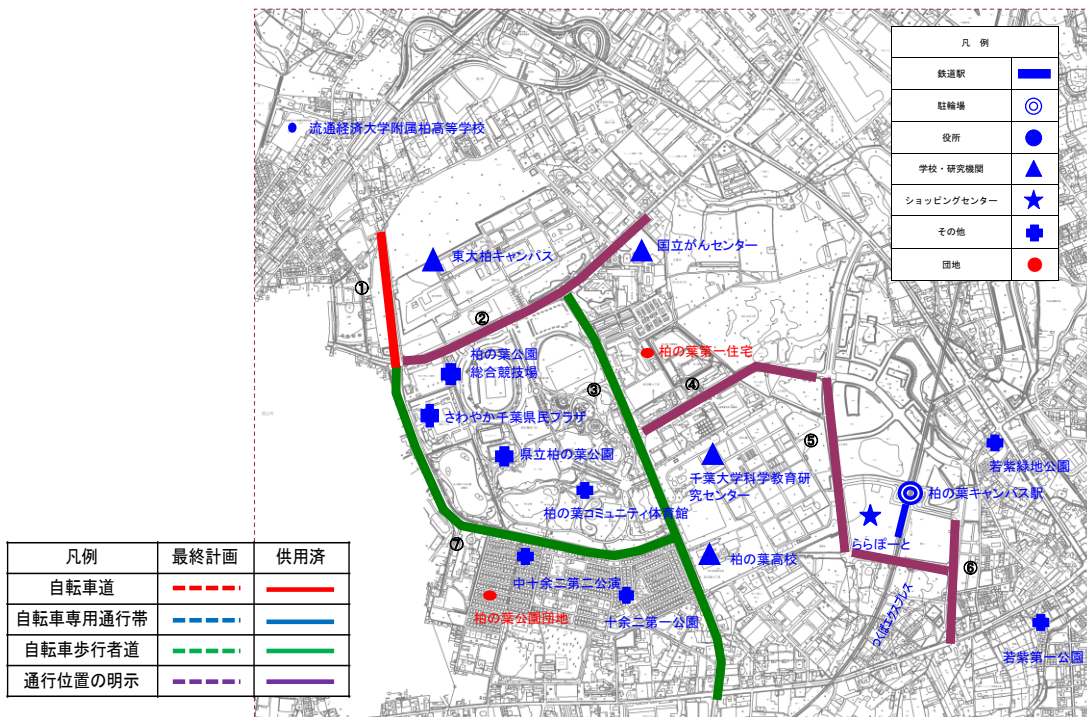
### (1) 自転車道の整備状況

交通利便性の高い道路網と併せ、自転車利用に適した道路環境を有していますが、自転車道や自転車ルートは、北部地域及び河川や手賀沼周辺など限られた地域の整備となっています。

本市においては、「柏の葉キャンパスタウン構想」(H20年3月)におけるサステナブルな移動交通システムを目指し、「柏の葉自転車利用促進計画」(H22年3月)により、柏の葉キャンパス駅周辺において、自転車道1区間 500m、自転車歩行者道2区間 3,000m、通行位置の明示4区間 3,200mの整備を推進しています。

また、手賀沼周辺、利根川周辺、大堀川周辺において自転車ルートが整備されています。

■柏の葉キャンパス駅周辺の自転車ネットワーク



資料：柏市交通政策課 (H24年3月)



・手賀沼サイクリングロード



・大堀川リバーサイドパーク



・利根川サイクリングロード